



官位不簿問答 上

73
6563
1



門 73
流 6563
卷 1

官位不審問答卷上

條々

太政大臣攝関兼任如何

攝関ヲノク任之攝政ハ忠仁公初例ナリ

白ハ昭宣公初例ナリミナコレ太政大臣ノトキ

猶爲攝関也近代皆以如此

左大辨宰相右大辨宰相ト他人ハカケトモ我

ハ参議トバカリ書之歟

此分ニ候或ハ参議右大辨トモ自身ハ書之

昭和十六年一月十一日寄
尾野貴英氏贈

トモ本負數三人三臈ニテ如此喚候歟

少外記ハ一臈二臈三臈四臈トテ四人アリ他人

ハ一臈二臈トカケトモミツカラ書ニハ少外記モシクハ

權少外記ト書之歟

此分ニ候

左大史二人之内五位ヲ大夫史ト云ツギラ官

長者トイフ也他人ハ大夫史トカケトモ我ハ左大

史トカク歟

此分ニ候二人ナガラ五位ノ事アル歟勿論

近代四品者在之上首ハ大略官務也下臈ヲ

ハ新大夫史新四位史ト喚之歟

右大史是ハ二人ナガラ六位ナリ他人ハ姓ヲ加ヘテ中

大史宗大史ト書之二人之内下臈一人ヲハ新大史

トモ稱之我ハ右大史ト書之此分ニ候

左少史是ハ六位ナリ二人カ中一人ヲハ左一史ト書之

我ハ左少史ト書之次ノ一人ヲハ左端史ト書之我

ハ左少史ト可書之歟此分ニ候

左端史サモ候我當座不覺悟

右少史是モ六位ナリ一人之内一人ヲハ指次史ト
他人書之トモ我ハ右少史ト可書一人ヲハ新少
史ト書我ハ右少史ト可調此分ニ候

侍從大納言侍從中納言侍從宰相ト他人
稱スレトモ我ハ侍從トハ不書大納言或ハ參
議ト書之位署ニ兼官侍從ヲ載候也

又二位三位四位侍從ト人ハ書トモ自ラ書ニ夕、
侍從ト書也此分ニ候

大中納言宰相ヲ兼セサルハ如此候哉侍從ハ中

務省ニ所屬ノ謂如何

勿論拾遺補闕之官官中ニ咫尺スベキ官ナル故

ニ中務省ノ所屬タルナリ

帶刀長二人アリ先生ト他人ハ書トモ我ハ只實名モ

シクハ他官アラハ其ヲカクヘシ此分ニ候

此段子細アル事トモニ候我無殊事候又張兩説

如何ツ子ニ如此用ヒ候歟

右右近衛府内太將ノ事大臣大中納言參議ノ兼
ス職ナリ消息ニ大臣ハ夕、大臣ト書自書此

方ナリ大中納言宰相ハ他人モ大將ト書之我モ
大將ト書之此分ニ候但シ本式ノモノニ大臣ノ
大將モ加ヘテ書候哉 位署ニ書候トキ兼
行左近衛大將ト書之ナリ大中納言參議同前
歟

中納言中將之事他人ハ中納言中將ト書トモ
自ラカクニハ中納言トバカリ書之參議中將
モ同之次ニ二位中將三位中將ト他人ハ書トモ
我ハ夕中將ト書之是モ本式ノ位署ニカハル

ヘキナリ此分ニ候

將監之事爵ヲシテ後ハ他人ハ大夫將監トカケトモ

我ハ不書之此分ニ候

又舞人隨身ナトハ將監ニ任シタルヲハ判官ト稱
之此事當座無覺悟候書札ニ他人ハ判官トカ
ケドモ我ハ將監トカクナリ

左衛門府ノ所ニ檢非違使判官ハ五位尉也但シ延
尉不渡以前ハ使ノ宣旨ノ事歟此段不審ナリ
六位ニテ使宣旨ヲ蒙テ後ニハ六位カ渡テノキ

二人ハ大夫判官ト書之我ハ左衛門少尉ト可
書此分ニ候叙爵トハ左衛門尉ニ成テ後ニ五位
ナルヲ云此分ニ候我ハ散位ト書之トモ他人ハ左
衛門大夫ト書ヘシ此分ニ候

陸奥出羽按察使之事他人ハ按察ト書之我ハ
按察使ト書之此分ニ候他人モ按察使ノ
字ヲ加ヘ書事アリ書札ナトハ按察殿トコ
レヲカリ或ハ按察中納言殿ナト書之
防鴨河使是モ使ノ宣旨歟

使ノ宣旨トハ檢非違使ノコトヲイフナリ防鴨河
使等ハ夕、宣下スル官ナリ此官ハサ、ケモノトテ
位署ヲカクノトキ第一ノ上ニカクモノナリ征夷大
將軍造東大寺長官ナト云類也
檢非違使別當衛府督ヲ兼スルナリ他人ハ別當
トカケトモ我ハ衛府督ト書之歟此分ニ候
位署如何 別當權中納言從三位兼右衛
門督ナトノ体ニ候也
是ハ左右衛門權佐歟廷尉之事ニ候哉

是モ使ノ宣旨ヲ蒙テ後延尉佐ト喚候也延尉
ハ多ク分權佐ニテ候但シタ、佐ナトモト左右衛門
兵衛佐權佐ニテ候人ヲ延尉ニテ候ハ子ハ權佐
殿ト喚ト候自身モ一々權佐ト書之候也

殿上別當左大臣事也消息ニモ書コトナシ此分ニ候
職原抄ニ藏人所別當ト載候此計ナリ内
裏ノ殿上人別當ニテ候也

藏人事

内侍宣トテロツカラ殿上ニテ出納ニ仰セテ其人

ニ告知シメトナリ

消息ニ勿論書トモ其身ハ不書之歟

位署ニ六書之藏人左中辨藏人右小辨ナト

又ハ六位ニ藏人中務丞式部丞ナトノ体ナリ

雑色是モ藏人所ノ雑色ナリ

非雑色所ノ衆是モ藏人所ノ衆ト云儀ナリ職原

抄ニ九見候哉

一品二品三品四品

以上親王ノ位也勿論ナリ俗ニ

三位二位ヲモ唐名ノヤウニイカ、申シテラハレ候也

二品三品四品ト云如何又親王五品ヲ無品ト申
候哉無品ト云ニアタリ候哉四品トテハ親王ノ位
ニ候ヘハ無品ハ四品ノ次トヲホヘ候

女官位一品二品三品四品ノ妃ヤ候女房ノ位階ニ
正二位正三位正四位トハ申候ハテ夕、從位ハカリニテ
加級ヲ申歟

近代此分ニ候女叙位ノ儀此心ニテ候也
上座寺主都維那師 以上三綱也
阿闍梨大徳ハ無官無位ヲ申候哉諸寺ノ三

綱トハ右ノ三ツヲ申候哉又寺社ニヨリテカハリ候哉

不可替候寺ニヨリテ阿闍梨阿口ヲキ候
宣下セラレタル寺トソレハ三綱ノ外ニ行法ノ阿闍梨
ヲヲク心ニテ候

參議拜任之事 攝家清華ノ外ニモ拜任候哉
諸家皆々多分任シキタリ候

參議ニ任セス三位ニナリ候ヲ傍三位ト号シ候哉
傍三位トモ散三位トモ申候當時地下ノ者ニテモ
三位ニ叙シ候ヲハ如此申候ナリ

武家ニ斯波 勿論ニ侯畱山未聞存侯也近年
赤松三位ニ昇進侯哉故政則依神璽之賞
別儀侯初例侯哉

然者後家々椰ノ字ヲ可加歟 勿論ニ侯
是ハ三位ストモ地下ノニテ可有侯
昇殿ハニ夕各別ノ事ニ侯哉 日比ニ椰カハル

コト不可有 三位ノノ千ハ進上御礼日六等
ノ調ヘアリ 實名称号如何ト覺侯

大將ニ任セラレ、夏參議以上ノ兼職侯哉

勿論ニ侯攝家清華ノ外不任侯專ラ執レ

キタリ侯 頭職ニ侯
大納言ノ兼官ニ彈正尹侯哉 勿論ニ侯

然者位署カキヤラ如何又他官ニモ 彈正尹兼
任侯哉 中納言モモシク兼任ノノ流侯哉

太政大臣并三大臣太中納言以下 辭退ノ事
除目ノ次テ侯哉 後進ノ人出来之時

辭退侯也 又當官御柳留之事モ侯哉 御用ニ隨

テ上トシテモ抑留セラレ下トシテモ申レワケテ
抑留ノ事モ時ニヨリテアル事ニテ候又定法
ナク候

推大納言推中納言ト申ゴトク推少納言トハ不
申候哉

少納言ハ本来不置推官候也少納言ハ三人任
受候當時モ管少納言清少納言ナト喚候後
大任シ候ヲハ新少納言ト喚候也
推之字ノ事

當時大納言ハ皆推大納言推中納言ニテ
候轉正トテ正入大納言ニ轉任スル事有之
ソノトキハ推ト喚候ハテ只大納言中納言ト申
候也是ハ任大臣ヲ行ハルノトキ第一第二ノ
大中納言正ニ轉セシメサナラヌトキハ轉正ノ事
候ハサル間近來ノ者タニナ推大推中ノミニテ
候也
官位宣下事
位階ハ職事奏聞シテ勅許之後職

官位宣下事

職

事^シ上^ウ郷^{キョウ} 仰^{オウ}セ 侯^{コウ}上^ウ郷^{キョウ}太^{タイ}内^{ナイ}記^キニ仰^{オウ}セテ
位^イ記^キハ令^{メイ}仰^{オウ}セ 侯^{コウ}也

官^{クワン}ヲ職^{シヨク}事^ジ上^ウ郷^{キョウ}ニ仰^{オウ}セテ上^ウ郷^{キョウ}外^{ガイ}記^キニ仰^{オウ}ス宣^{セン}旨^シ
ヲナシ侯^{コウ}又^{マタ}官^{クワン}ニヨシテ官^{クワン}務^ム奉^{ホウ}行^{コウ}之^シ事^ジ侯^{コウ}ソ
レヲハ上^ウ郷^{キョウ}カナラズ糸^{イト}ニ下^ゲ知^チテ并^ニカ官^{クワン}務^ムニ
仰^{オウ}セ也 僧^{ソウ}ノ官^{クワン}位^イヲハコトク官^{クワン}務^ム下^ゲ知^チ侯^{コウ}也

授^{ジュ}家^ケ清^{セイ}華^カモ四^シ府^フ督^{トク}伏^{フツ}経^{ケイ}歴^{レイ}侯^{コウ}哉^ヤ 勿^ム論^{ロン}侯^{コウ}

尉^ウ志^シ如^ニ何^カ 是^{コト}不^レ任^ニ侯^{コウ}

四^シ職^{シヨク}ノスケ進^{シン}サクワ同^{ドウ}諸^{ショ}司^シノ助^{シュ}也 以上^{イゼン}不^レ任^ニ侯^{コウ}

受^ウ領^{リョウ}以下^{イカニ}同^{ドウ}前^{ゼン} 兼^{ケン}國^{コク}トテ殿^{テン}上^ウ人^{ジン}ノトキハ

次^ジ推^{ツイ}以^ニ参^{サン}議^ギノトキハ推^{ツイ}守^{シュ}カナラズ兼^{ケン}任^ニ侯^{コウ}

代^{タイ}々^々ノ佳^カ例^{レイ}ヲモホリテ任^ニシキタリ侯^{コウ}

叙^{シヨ}爵^{キョク}以^ニ後^{コト}ハ大夫^{ダイフ}將^{ショウ}監^{カン} 常^{ジョウ}ニカクノコトク申^{マシ}侯^{コウ}

太^{タイ}夫^フ進^{シン}大夫^{ダイフ}屬^{ジュク}ト称^{セウ}シ侯^{コウ} ソノナトハイタク

キナレヌ侯^{コウ} 然^{シカドモ}ラハイツレノ官^{クワン}ノスケナ

クワシモ叙^{シヨ}爵^{キョク}侯^{コウ}モノハ大夫^{ダイフ}ト可^カ書^{カク}侯^{コウ}哉^ヤ

顯^{ケン} 充^{チウ}衛^{エイ}門^{メン}太^{タイ}夫^フ右^ウ兵^{ヘイ}衛^{エイ}大夫^{ダイフ}ナトハツ子^シニマタ

與^イ侯^{コウ}サシタル顯^{ケン}職^{シヨク}ニテモナキ官^{クワン}ヲハ喚^{ケン}付^フ侯^{コウ}

ハヌカトヲホエ侯タシ近代武家ノ奉行衆
ハミナイツレノ官ニモ何ノ大夫ト稱之侯サモコ
ソ侯ラノ古儀ス不聞馴侯ヤウニヲホエ侯
イカシ

八省ノ郷ノ事

中式ニツハ親王ノ外近代不任之侯ソノ外ハ
イツレモミナ是ヲ任シキタリ侯後醍醐御宇
ニ大臣モミナ八省郷ヲ兼任之吏侯義コシハ
邂逅ノ例ニ侯哉

八省四職四府ノ外ニ兵庫彈正等ノ官ヲハ如何申
侯哉 別ニナニト申レ侯事モ不聞付侯
兼見王ナドノ王ノ字加ヘ侯事

四世無位トテ王孫四世ニヲヨヒ侯ハ皆無位
ニ侯仍テ某ノ王ト稱ニテ爵ヲ申レ請侯ナリ
叙位ニカナラス王氏ノ爵ト申レ侯モ或ハ寛和
御後天曆ノ御後ナト其帝ノ御子孫トモノ
爵ヲ申サルニテ侯當時伯モ源ノ姓ヲ賜フ
イヘトモ伯ニ成侯トキニ王氏ニカヘリ侯ナリ

左右ノヲホイマウ千キミ大臣ト申候哉 勿論ニ
候 又大夫如何 一ウ千キミト是ヲハ訓ニ
候ナリ

典侍藤原直子朝臣典侍藤ノヨルカノ朝臣イ

カ、候哉 勿論ニ候

尸荷 四品シタル女房ナレハ如此書候也

又女王 御即位ノ時 寮帳ノ女王トテ戸ハカリ

ヲアケ候 女王ハ今モ伯カ女トモヲマイラセ候也

家ノ字ヲ付候事何レノ官ニテニ候哉

攝政家 雑掌 大納言 家等 候哉 勿論ニ候
浅官ノ人モ 雑掌カ申状ナトニ 中將家 少將
家 雑掌 申トハ 常ニカキ候 但依人 斟酌モア
ルヘク 候カ有 無人々ノコロニアルヘク 候哉

三家 汎家 名家 諸大夫家 事

職原抄ノ奥ニ大イニセラレヘク 候哉 家々勝

劣 卒ルニ難申述事也

和尚號 禪師号 上人号

和尚号ハ元應寺以下 律家ニ申ウケ候

禪師号ハ禪家申レウケ候上人号之事
 ハ古来ソノ沙汰ナキ事ニ候近代浄土家等ヲ
 ホク申レウケ候コレハ夕々職事消息ニテ其上
 人御房トカキツカハス計ニ候裏書禪師号ハ
 多分謚号タリ現存ヲハ特賜号ナリ是ハシテ
 コトナリ紫野ノ二祖ニアリ
 伊勢 祭主 住吉 日吉神主 賀茂
 祝 勝劣イカンマタハ春日ハ幡神職ノ事
 彼家々ヲノク義勢マキノニ候サラニ勝劣

フ申レカタク候又春日ハ中臣氏ミナソノ職
 ニ居候ハ幡ノ神人ハ紀氏後胤ニ候歎宮等
 ニテ專ラ檢校別當ナト僧中ノ管領ノ社
 候社官ノ沙汰不聞候
 勲位之事 何等マテ定マリ候哉
 勲位令ニノセ候分十二等ニ候ナリ神位モ上
 古ハ次第ニ昇進ノヤウニ贈シ申サルコトナリ
 夕々近代天下ノ諸神太畧正一位ノ分ニ成候
 哉自四位初位マテ一階ニ二等アリ已上十二等

ナリ

位ヲ官ニツケテ書事スムヲ以テウヘニ書

勿論ニ候 又官受領ニヨリテ不書モ候

哉

此事官位相當ト相當セサルトニヨリテニキク

ニ候間ノ儀注レ得カタク候官モ位ニモヨリ申

ヘキ事ニ候

姓ヲ位ニツケ官ニツケテ呼事ニ候タトハ藤

宰相管三位ナトヤウニ稱之イカ

此事自然ニカキツケタル人々ヲヨビキタリ候

別ノ法儀ナク候

打カセテハ官ヲハ昇進位ヲハ加級一級ナト

申スヘキニテ候但レ倅階モ昇進ト申レテ理

ニハ不可背也

東宮傳ト申ハ東宮官ノカミニテ候哉カレツト

ヨムト申候 勿論ニ候

官ノ時ハフトヨミ申候哉 此分ニ候

又役ハ何事ヲツトメ候哉 東宮ニナニ

唐書ハ卷四十二

一カ

事ヲモラレハタテミツル官ナリ太子太傅トテ異朝ニモ尤モ重クスル官也本朝ニモ一々賞翫ノ職ナリ

攝家清華

侍從外衛佐ナト取初ノ任官

ニ候 其外納言御林以下取初ハイツレ

ノ官ニ任セラレ次第ノ昇進候哉可依家侯

哉 八省ナトヲモ先祖經歷ノ人モトヲノク

可依其家也

攝家清華ノ御昇進ニモ取初ハ五位ヨリ叙セ

ラレ候哉 各カナラス五位ヨリ昇進候

ソノ中人ニヨリテ越階トテ位階ヲコエテ昇進

ノ事モ候攝関ヲカケ給ル其子元服ノ當太略正五位下

白采兼職其子從五位ニ叙セラレ候ノ外ハ三ナ叙爵從五

位下ニテ候ナリ清華モ太政大臣ノ子ハカナラ

ス直ニ正五位下ニ叙レ候

越階之事二三階ヲモコエラレ候哉ソノ次第又

人ニヨリ候哉

越階ハ多ク分ハ一階ニテ候但シ不次之當員ニヨリ

テハ二階三階マタツノ例タマサカノ事

近衛府ニ少將マテハ左右近衛少將ト本式ノ

位署ニ候ソノ例官ニテハ候ヘトモ左右近衛將監

ト申候ツ子ニ申レ付候ハシモ不可有難事ニ

候歟衛ノ字ヲクハハサルコトイカン左右近衛將

監將曹トモ可称候哉

府生同前

親王攝家ノ受領ハ上中下國ノ内ニイツレノ國ニテ

モ上古ハ吏務候テ任セラレ候哉近年マタイカン

親王ハ太守ニ候ヘ太守ノ國ニ多分任セラレ候テ

リ攝家ハ自余ノ人臣ニ相カハラス散三位等

客ノトキ兼國先祖ノ嘉例ヲ追テ任レキタルナ

リ吏務ノ事ハ近年アレトモヲノク無實候

國司一向コレヲツカサトリ候ナリ

親王ノ位ニ一品ヨリ四品マテハ有之哉五品ヲ云

品親王ト称レ候歟 此分ニ候六番目ヨリハコ

レナク候

昇進イカン 一品ヨリ無品親王マテニ候ナリ

源氏物語ノ揚名ノ人ノ字ノ事別ノ儀ナク
侯哉

ソノナラヒ各別ノ由申候

受領ノ人ニカハリ候哉カハルヘカラス候哉

兩省初官ニ何ヲ拜任候哉

外記局八家々ニヨリテ諸司正助ナトイッレモ

ソノ先祖ノ嘉例ヲ追候官務ハ壬生主殿頭時

元宿彌ハ八省輔ナト歎

世路平相國清盛朝臣ト申候事

是ハ夕、自然ニカヤウニ申レ候ラシタ、レソウレテ
今ハ朝臣ノ字宣命ナトニ大臣ヲモイッレノ朝臣
トコレヲセ候アイタカヤウニ付テ呼候ハニスルモレ
サイナキ事ニ候歎レカモツ子ニハレカルヘカラス候
入道已後猶實名ヲ書事候又實名ニ法師ト
書事イカン
上古ノ儀ニナ如此ニ候、法名ヲ知事ハ別段
ニ候日来呼付候名字ニ法師ノ字ヲクハヘテ
喚ニテ候哉近來モ古老ノ人違ハサヤウニニ申

キタラシトナリ

十郎藏人行家ト申候事イカン

十郎ハモトヨリヨヒキタリ候名ニテ候タ、イニ

藏人ニナサレタルニヨリテ如此申候歟九郎判

官義經ト申同事ニ候哉

堂上ト申ハイツレノ官位堂下又同前

官位ニアナカキ堂上堂下ノワケメハ候ハ又歟タ、

ニ両肩コトキハ生得地トノ官諸司ノ三分等又

地下ノ官タルヘク候哉

公卿ノ作トヨ殿上人同ソノ所役等イカン

公卿ハ尤近陣座ニモ殿上ニモ宜陽殿ニモソノ事

ニシタカヒテ伺候ス別シテナストコロサタミラス

候歟殿上人ハカナラス殿上ニ候スヘキニテ候ソ

ノ役ニ夕時ニシタカフヘシ不能注之裏書ツ子ニ攝

関公卿ノ座シテ事ヲ沙汰アル殿ナリ

上北面下北面ノカハリ又平話ニ北ヲモテトヨブノ

ヨシイカン同装束ノ事

上北面ハ諸家ノ諸大夫官外記ナトヲ補セ

ラルナリ洞中ニテハ狩衣差貫ナリ下北面
 ハ諸家ノ侍ヒコレヲ補ス五位ハカリキ又實ニ
 六位ハ襖袴ナリキ夕面トメスコト取ニヨリテ
 サモアルニヤ裏書アフハカ一布色ハアヲキモノ
 アリ白クモスト云々襖アヲトヨムスアフハカニ
 可書之ヲ

節會ノ時劔笏ヲ帶シ靴ヲ負人之夏
 公卿ハ帶劔笏殿上人ハ次將トテ近衛中將
 帶劔スルナリ外衛佐モ帶劔スヘシ

六位ノ裝束ハ緑ニ候哉 勿論ニ候

自初位至七位ニテ差別イカ、候哉 近代見
 ヲヨハス候

五位ハ朱衣四位ヨリ一位ニテハムラサキニテ候哉淺
 深イカン

差別アルヘキ事ナリ夕ニ近代太畧用ルコト同
 色ナリ夕、本式ニアラス自然如此ニ候

四位袍 褐 布衣 着用次第之事
 褐ハ隨身用之布衣ハカリキヌトテ洞中ニテ

用之上皇以下北面ニイタルニテ用之ナリ

直衣 烏帽子 御着用之事

烏帽子直衣トテ烏帽子ニ直衣ヲ着用スルコ

ト大臣已後晴ノトコロヘモ用之大納言ニテハ

不着用候モノナリ別當ハ廳ノ始ト云事ナトヲ

コナフトキ自身ノ家ニテハ着用之也上古ハ三

十家中ニテハ大納言モ着用シケルト云リ近代

ハシカラサルナリ 廳始トハ 裏書ニ 家礼ノ公家ヲ

會合ノ義ト云

太政大臣三公納言 藝裝束事

兼相ハ烏帽子直衣小直衣至極ノ服水子

著袴前官後道服トナリ納言ハ直垂近代用之

但シ人ニヨリテナリ 裏書 小直衣ハワキニスヲ

ヨコサニツケタルヤウナルモノナリ

冠ハ理髮已後品カハリアルヲヤ

十六歳ノ春ニテハ透額トテヒタイノスキタ

ルヲ用候ソノ千ハツ子ノ冠ヲ着用ス

立烏帽子 風折可有差別哉

更不可有分別事也

輦車牛車 乗ラリノトコロイカン

輦車ハ宮中ヲ出入牛車ハ中ノ車トテ中門

ノキハ一テ乗候ナリ

北政所或ハナニカシノ室ナト申事イツレノ官位ノ

コトミテ候哉

コトハ閑白ノ室ニカキリ候室ノ事公卿ノ妻

ヲハイツレモ大カタカクノコトク称スヘク候歟

墨ノ縁紋ノ事

天子親主攝家三公以下次

第イカン

纒太文緋高麗小文紫ノ縁黄ヘリ等寢殿以下

ノソノトコロニシタカヒテ人々敷之候大畧三公

家ニ通用候ナリ

女官ノ次第并ニ候スル取等如何

皇后尚侍内侍ノカミ當時無之典侍スナヘ掌侍ビヤク

三此称号不聞御局命婦ミヤウメ乗女ウラメ

女孺メウ已下

典侍掌侍命婦女藏人等女局ノサフラヒト

テツ子ハ^{タイ}臺盤^{トコ}取ト云トコロニ^{コウ}候スヘキナリコノ
 内^ウ女藏人^{クラフ}ト云ハツ子ノ^コ御所^コ簾臺^{タイ}ノウヘヨルノ
 ラトノウチヘナトハイラスモノナリ采女^{ウメ}ハ内侍^{ウチ}
 ノトコロニ^{コウ}候ス本式^{ホシキ}ハ采女^{ウメ}町^{チヨウ}ト云トコロニ^{コウ}候セシヤ
 今ハ^タ断絶^{タツ}セリカ自^ジト云モノハ又内侍所^{ウチ}ニ^{コウ}候ス主
 殿^{ノモツカサ}司^シト云モノハ殿上^{テンジョウ}ニ^{コウ}候ス藏人^{クラフ}頭^{カビ}ナトニ^{コウ}宮ツカヘ
 スル女ナリ女孺^{メウ}モコノ下^{シモ}ニテ^{コウ}宮ツカヒス御格^{ミカクシ}子ノ
 アケラロシナトツトムルナリ得^{トク}選^{セン}女官^{メウクワン}ト云モノ
 ハ^タ臺^{タイ}取^{トク}ニ^{コウ}候シテ朝夕^{チヨウ}ノ^{コウ}御膳^{ミゼン}ナトモ^{コウ}千^チテ^{コウ}イ^イル

朝餉^{チヨウカウ}ナトニシタカフナリ此^{コノ}湯^ユ選^{セン}ハヤカテ又采^{ウメ}
 女^メヲ^{コウ}兼^{ケン}帶^{タイ}セルモノナリ

女房^{メウバウ}ノ位^イ階^{カイ}ニ^{コウ}從^{ジュウ}一位^{イチイ}從^{ジュウ}二位^{ニイ}從^{ジュウ}三位^{サンイ}トイヘトモ正^{セイ}
 一位^{イチイ}已^イ下^ゲナク^{コウ}候哉

正^{セイ}二位^{ニイ}正^{セイ}三位^{サンイ}ト云事^{コト}女^メノ位^イ階^{カイ}ニハ^{コウ}無^ム之^シ女^メ叙^{シヨ}
 位^イノ古^コ抄^{セウ}ニモ^{コウ}尤^{ユウ}モカクノコトク^{コト}載^{ノシ}之^シ從^{ジュウ}一位^{イチイ}從^{ジュウ}
 二位^{ニイ}從^{ジュウ}三位^{サンイ}ノミナリ正^{セイ}一位^{イチイ}ハ男^{オウ}モ贈^{サウ}位^イノ外^{ガイ}不^フ
 叙^{シヨ}之^シ也

女房ノ位階ニ四位五位ヲモ叙セラレ候哉

女叙ノトキハ第一ニツ從五位ヨリ叙スルナリ
裏書ニサタマリテ三人ナル

和歌作者ニ大貳三位ト申ス事イカン

太宰大貳高階成章卿為妻仍テ大貳ト

号スルコトハ夫ノ官ヲヨヒ候和泉式部ハ保昌

朝臣和泉守タリシトキノ妻ナレハ和泉式

部ト夫ノ名ヲ加フ同事ニ候コノ三位ハ御乳

母ニテ三位ニ叙スル間大貳三位ト申候ナリ

女ニ宣旨ト号シ候事

是ハ中宮ノ宣旨春宮ノ宣旨又ハ関白家

ニ宣旨ノ房トテ候ソレハ某関白ニサレ候

トキノ宣旨ヲトリ入タル女房ヲ喚候

裏書ニ云此宣旨摸シテ撰関家ノ宣旨トリ

ツタヘタルニアラ子トモ可然女房ナト自然ニコレ

ヲ号スルナリ

武家被官ニ藏人丞ト称候ハイカン

藏人丞ノ事一向不覺悟候第一藏人ト云官

以前モ申スコトク春宮御座ナキトキコノ号アラ

ルヘカラサル事ニ候ソノ上々又藏人丞ト云官
アルヘカラス候夕、何ノ丞ニテモコソ候ラハメ
沙汰ノ外ノ事ニ候

宣下ノモノニ日ノ下ニ知家事ナニカシ安主ナニカレト
兩人加判候テ年号ノトヲリニ左右大將或ハ從一
位二位ナトノ高位ノ御方五人モ三人モ御連署候
事イカン

知家事案主此兩人ハ大臣家ノ家司ノ官ト
モテカナラス諸事ヲカキクダシ候事左右大

將以下連署ノ事連署ハ不審ニ候ナニノ文
ニテカトラン其程見拜候ハテハソラニハカリカダ
ク候ナニヤウコレハ宣下ノモノニテハト申ミシキ
左右馬寮ナトノ御監ナト申スタクヒノ文候
哉 裏書ニ云御監ト云ハ書下スノモノ也
左右大將コレヲタテツル御厩ノコトヲレナリ
後徳大寺左大將實定卿或ハ定家家隆ナト
ト音ニテ喚候事

此事自然ニカク云付タルニテ候可然名譽

ノ人ヲハ近代モヲホクカヤウニ稱シキタリ侯ヤ
諸官并受領ノカミヲカラウノ殿ト世俗ニ申侯哉

此分ニ侯申シナラハ候

誰々不限侯哉 其由ニ存侯

天子ノヲハ 綸旨 宣旨 口宣ト申侯哉

此分ニ侯

勅書イカン 勅書 詔書 宣命トテ大内

記草進スコノ三六御畫ト申テ年号月ノ下

ニ其當日ヲ天子御手ツカラアソハシ入ラル事

アルモノナリ

院ノヲハ院宣 后イカン 只令旨ト稱スル也

親主并宮々ノヲハ令旨ト申シ侯哉

勿論ニ侯

攝家清華御書ノ名目イカン

関白ノヲハ長者宣ト号シ侯也清華別ニ

アナカチ其稱ナク侯地下ノトモカラコトキニハ

大畧家司ノ奉書ナリ

御幸八院 行幸八天子 行啓八春宮

中宮 親王 コハタ、渡御ト申候也

攝家清華ニテハ御成候ト申候哉

堅固近俗ノ語ニ候サモコソ候シソラメ御出

ナトモ申ナラハシ候歟

御車上中下ノ次第ノ事

多端ノ事ニ候申シ注シカタク候

簾條ハ網代ノ車ノ事ニ候歟 諸人通用

ノ物ナリ毛車ハ桝柳毛トテ公卿ノ乗用ニ

候糸毛庇ナト規模ノ事ニ候 裏書ニ云長

物見ナトハ上首アレロナリ公卿アマ子久通ス

紋車ハ殿上人家ノ紋ヲアレロニクムナリ小ハ

葉ハ辨官已下コレヲユレテ用之轆ハスクナ

モノナリ

踐祚

天子位ヲフミシニス通号ナリ

受禪

ユツリヲウケテ帝位ニホリタマフコトナリ

即位

マサシク天子ノ位ニツキタマフヨシヲ天神地祇
百官諸司ニツケシメシマス其礼ヲコナハル、
節會ナリ

崩 薨 卒 逝去ノ次第ノ事

礼記云天子死曰崩諸侯曰薨大夫曰卒士
曰不禄庶人曰死大概コレニ准シテ可_キ知_ル之_事
哉士曰不禄 裏書ニ曰殿上人ワカチタルヘシ
平人タルヘシ 逝去 逝水 同之 遷化ノ事カナラス
知識 出家ニカキルヘカラス 侯 俗人ノ上首ナ

トモ申ヘシ入滅トモ申上ハクルニカラス 侯

聖号 長老 上人号

以下宣下ナキモノナリ

僧正 大正モアリ 僧都 大少 少ニ権ナシ 律師 正無之

以上不審

阿闍梨

官ニアラサルナリタ、寺ニヨリテ阿闍梨 阿古
ヲ置官位ニカハラスシテアルナリマタ灌頂ノ大阿
闍梨ナト云ハ各別ノコトナリ丁身阿闍梨トテ又

灌頂ヲウツヘキ人宣下申シウクルコトアリコ
レモ官ニハアラフスソウシテ阿闍梨トハ法師ノ通
称ナリ

致事表ト云事

礼記ニ大夫七十而致事云々ソノツカサトルト
コロノ事ヲ君ニカヘシイタスココロナリ日本ニハ
致仕トヲホクハカキ候仕フルトコロノ事ヲ君
ニカヘスヨシヲ文章早ニカキアラハシタルヲ表ト云
ナリ源氏物語ニモ致仕ノ大臣モ此心ナルヘシ

縣召事

春ノ除目ヲ縣召ト云外國ノツカサヲ本ト任
スルニハ縣召ト云ナリ秋ノ除目ヲ京官ノ
除目ト云諸司ヲ肯ト任スルニヨリテナリ

大饗食被行事

任大臣ノ節會トテ大臣ヲ任セラル節會
ヲヲコナハルナリ時ニ新任ノ大臣ソノ日ノ節
會ノ上首ヲ尊者トテ招請アリソノ外官
外記ニイタルマテヲ吾亭ヘニ子イテ饗食應ス

ル事ナリ種々ノ儀式トモアルコトナリ上古ハ
二宮ノ大饗食トテ毎ノ始ニ中宮春宮ノ二
所ニテモ大饗ノ儀式ハアリニナリ

天子へ將軍家并ニ三管領ノノ已下相伴衆進
上ノ物ノ目錄同録同官實名等ノ事

此事堅固ニ内々ノ儀ニ候ナリサタニレルヲモ
ムキ不知之候持之朝臣弘源寺永尊ニ禁
中御職法ノトキニ常ニ御前ノ簀子へメリイタ
サレ候トキニ供御料トテ万疋進上候トキハ

折紙ニ進上万疋持之仕トカキテ傳奏ヲ以
テ普廣院殿へ進上ノトコロヤカテソノ折紙
ヲ御前ニテ御披露申ケルヨシウケタニハリヲ
ヨヒ候大ム子イツレモトノヘヤウハ此分ニテコソト
ヲホエ候

右ノ衆ヨリ攝家清華三公納言已下へ進セラレ候
事

大畧近代折紙馬美物等ノ類コト在作法
ナク通例ノヤウニ候タシタカニシラス候

内舉外舉次第ノ事

内舉トハ女中又ハ近習ノ臣下ナトノ申沙
汰ヲ申候歟外舉トハサレテ各目ニハ云ナラハ
シ候ハヌナリコレハ外様ヨリ次第ノ奉達タル
ヘシ別儀ナク候哉

宣旨ニ宣奉勅イカン

如此読候ナリ

心ハ其日上卿ノ勅定ヲウケタマハリタルトノタ
マフトイフコロニテ候歟シカルニ宣ノ字ハ上卿ノ
玉フニテ候コノ旨ヲ外記カカキイタシ候トコロ

ヲ宣旨トハ申候ナリ

悉之ニ以狀ト書事

是ヲレツスルニ狀ヲ以テス如此ヨムカ委細ヲ

右ノ狀ニシクシタルト云コロナリ

上卿ハ事ニヨリテ人体相定レリ哉 勿論ニ候

大臣奉行ノ公事ハ大臣ト云太中納言奉行ノ

公事ヲ太中納言ヲ上卿ト云ノノ日ノ上首ヲ上

卿ト申スナリ

仙洞式裝并 御内衣事

事ニヨリテ御装束シヤウソクツレクナリ目カハレヘシ
 巨細キョウシヨ注シカタク侯カウ凡ソ御内衣ハ御烏帽子カウカサ
 前張マエハシノ大口オホコニ半尻ナハシラノ狩衣カウキヌ或ハツ子ツコノ狩衣カウキヌ差サシ
 貫スベキ又ハ小直衣コナフシ直衣ナフシナリ 裏書ウラガキニ云ヘハリツ
 子ノ大口オホコヲ一ヘラウシロニシタル女メモ着ルナリ
 天子ノ御式装束ミキヤウソク等ノ事 御服事ミフクシ可相替アヒカヘ
 御内衣ミナフシハクレナイノ御袴ミハカマ御引直衣ミナフシニテ御冠ミカザリ
 ニ中子紙ナカコシヲ入ラルナリ内々ウチウチニテモ引ツクロルト
 キハ御物ミモノノ具ツグトテ御張袴ミハカマニ御引直衣ミナフシニ御キ

又ヲカサ子コラルコトアルナリ

親主ミヤソノ外宮ソトミヤ々御装束ミヤウソク東

内衣ウチエハ大畧オホリヤク洞中ヒラナカノ儀キトヲナシヲホキミスカタト
 テ前張マエハシノ大口オホコ又ハス、シノ大口オホコニ小直衣コナフシヲモキヒラレ
 候カウナリ又狩衣カウキヌ差サシ貫スベキモツ子ノ事ナリ

皇后クウウ 女御メウコ 更衣カウイ 何モ巨細キョウシヨイカン

右七キ又五キ又大ウキ小ウキナトソノイロ
 イロシナクトキニラリフシニシタカイテ女房メウボウノキスト
 モ尊卑ソンヒ多端タタンニ候カウ又當時タウジハ見ナレサルノ事トモ

候アイタ分明ノ才覺ナク候タトヒニタ巨細
注シツケ候トモ千トコロ工候モノハヲコナイカタ
ク候歟短筆難述尽候

皇... 文... 直... 候... 同... 候...
... 又... 候... 大... 口... 候...
... 大... 中... 候... 大... 候...
... 大... 候... 大... 候...
... 大... 候... 大... 候...

官位不審問答卷上終

